

2023若手・ベテラン研修会

(第6回関東近郊中学生サッカー大会in神栖)

神栖市にて行われた第6回関東近郊中学生サッカー大会in神栖にご協力いただき、若手、ベテランを対象として スキルアップを目的として 審判研修会を開催しました。

- 研修期間：5月3日(水)～4日(木)
- 参加者数：審判員12名 インストラクター8名

【実技研修】

参加審判員に32試合を主審として割当てそれぞれの試合にインストラクターを配置し試合直後に振り返りを実施しました。振り返りでは、事前に作成した研修会参加シートを活用し目標に対しての自己評価、インストラクターからの良かった点、改善点、アドバイスを明文化して次の試合での良かった点の更なる向上、改善するべき点への処置・対策に活かすことによりレフリング技術の向上に繋がりがり且つ、繰り返すことにより参加審判員が向上を実感できるように考え実施しました。



【座学】

○マネジメントについて

高山浩樹（育成担当Gリーダー）

決定的な得点の機会の阻止の場面から再開までの映像を共有しマネジメントの考慮事項、処置事項についてディスカッションし参加者の経験や知恵を出し合わせ一例を得ました。



○フィジカルトレーニング

鶴田憲司（競技部兼育成担当G）

審判員が試合中に求められる動作・質を高めるため、心拍数を指標としたトレーニングの意義について説明しました。参加者各々は、今後のトレーニング強度の指標となる最大心拍数を把握することができました。



○競技部からの連絡

上野裕司（競技部長）

審判員の現況、割当試合の実績を把握してもらい割当ての考え方について説明しました。次にKICKOFFシステムのスケジュールについて説明をし入力について依頼をしました。



【まとめ】

参加審判員は、目標を掲げ積極的な姿勢で取り組み、研修会で何かを掴み少しでも目標達成に近づこうとする意気込みを感じました。

若手審判員は、技術について各々差がありますが試合ごとの改善点、アドバイスを真摯に受け止め次の試合で修正するように取り組んでいました。又、社会人としての成長も少し感じられました。

ベテラン審判員については、研修機会が少ない中での参加で若手審判員より以上の積極的な意欲が感じられました。

今回の研修での改善事項、アドバイスを今後の審判活動に活かし技術の向上を期待しつつ、引き続き審判員の育成に努力していきたいと考えております。

（文責：育成担当G 高山浩樹）